

白杵市 施策評価シート (令和3年度)	評価 担当者	課名 学校教育課	氏名 後藤 徳一	内線 3110
------------------------	-----------	-------------	-------------	------------

コード	V-12-24	施策名	基礎学力の定着と向上
施策の方針	ふるさとを担うたくましい人材を育てる		
まちづくりの方針	磨き輝き続ける市民がつながり、白杵っこが育つまち(学び)		
5年後のめざす姿	幼保小中が一体となって、子どもの自立につなげる15歳の白杵市の子どもの姿「学ぶ力」「誠実さ」「たくましさ」を身につけた白杵大好き“白杵っこ”を目指す教育を推進していきます。 学校では、管理職のリーダーシップのもとで芯の通った学校組織による学校運営を目指します。コミュニティ・スクールの推進により、家庭と地域と学校が一体となった教育活動を推進します。		
施策の内容	教師は、すすんで子どもの思いや気持ちに寄り添えるように、子どもとしっかり向き合い、子どもの理解に努めます。保護者は、家庭教育基本方針及びほっとさんの教え10か条で親力を高めます。子どもは、家庭学習や運動の習慣を身につけます。また、地域社会はコミュニティ・スクールの趣旨を理解し、学校運営や学校行事に参画・協力します。		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移						
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6
白杵市学力定着状況調査で全教科で偏差値50を超えた学校の割合	目標	白杵市基礎基本テスト	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績		%	100.0	100.0	100.0			
	達成率		%	100.0%	100.0%				
平日に1日1時間以上、家庭などで学習する小学6年生の割合	目標	全国学力・学習状況調査	%	70	70	75	75	80.0	
	実績		%	61.2	調査未実施	66			
	達成率		%	-	93.6%				
平日に1日2時間以上、家庭などで学習する中学3年生の割合	目標	全国学力・学習状況調査	%	40	40	40	45	45.0	
	実績		%	35.7	調査未実施	36.8			
	達成率		%	-	92.0%				
「健康であるために運動・食事が大切」と答える児童生徒の割合	目標	全国体力・運動能力、運動習慣等調査	%	75	75	80	80	90.0	
	実績		%	74.2	調査未実施	75.0			
	達成率		%	-	100.0%				
学校で食に関する授業を受けた児童・生徒の割合	目標	栄養教諭・栄養士等により、年1回以上食育授業を受けた市内小中学校の児童生徒の割合	%	70.0	70.0	75.0	75.0	80.0	
	実績		%	68.5	72.2	72.4			
	達成率		%	103.1%	103.4%				
	目標		%						
	実績		%						
	達成率		%						
	目標		%						
	実績		%						
	達成率		%						

指標の分析

白杵市基礎基本テストにおいて、全教科で偏差値50を超える学校の割合を100%にすることを継続していく必要があります。家庭学習の時間の達成状況が低いことに関しては、1日にほとんど家庭学習をしていない児童生徒が一定数いることが原因として考えられます。そのためには保護者と連携して、家庭学習や家庭での健康増進への取組を推進していかなければなりません。また、学力向上に向けても地域社会との連携を推進するため、コミュニティ・スクールの趣旨を理解させ、学校運営への参画の取組を推進していきます。

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度	満足度
市民意識調査結果 (R3調査)	向上領域	2.69	2.06	2.06
市民意識調査結果分析				2.59

<次年度以降の課題>

令和4年度以降の課題	校長を中心とする学力向上プロジェクトの取組みやICTを活用した授業改善、特別支援教育の充実や読書のまちづくりの継続した取組みなどにより、小学校中学校共に学力テストの改善が見られ、学力向上は確実に進んでいると考えていますが、学校間格差が課題となっています。また、家庭でのテレビやゲーム等のメディアに触れる時間が長いなど、家庭での学習習慣の定着も喫緊の課題といえます。肥満傾向出現率も高く、体力についての課題もあることから、生活習慣の改善に対する家庭との連携が必要です。幼児教育や家庭教育の充実とあわせて、21世紀を生きる子どもたちの育成のための学力向上への取組みが必要です。
------------	--

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R2年度実績	R3年度実績	令和4年度年度見込み			
1 市教育研究協議会補助金	授業研究や教材研究を行う協議会に補助を行うことで、教職員の資質・力量を高め授業力の向上を図ります。	学校教育課		2,990	1,384	2,037	重点継続		
2 ICT活用教育推進事業	パソコン、大型モニター、タブレット端末を整備し、学力向上を図ります。	学校教育課		144,141	18,064	38,710	重点継続		
3 小中一体教育推進事業	中学校を1つのブロックとして、小中学校9年間の教育目標・方針を明確にし教育活動を行います。	学校教育課		411	122	383	重点継続		
4 学力向上対策事業費	学力向上に対する教職員の配置や研修を行います。授業力改善等の取組による児童生徒の学力状況調査を実施します。	学校教育課		12,250	8,573	13,161	重点継続		
5 学校給食運営事業	食による児童・生徒の健全な育成を図るとともに、安心・安全で美味しい給食を提供します。	学校教育課		178,597	180,210	221,323	重点継続		
6									
7									
8									
9									
10									
合計				338,389	208,353	275,614			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	幼保小中一体教育のさらなる深化と発展により、15歳の春を迎える子どもたちをつながりをもって育てていく必要があります。教職員の大量退職や大量採用時代を迎えていますが、芯の通った学校組織の下で、教職員の授業力向上を図り、21世紀を生き抜く子どもたちの育成になお一層の取組みが必要です。学力向上とともに体力向上にも力を入れることが重要であり、食育や子どもの頃からの生活習慣の見直しなど、健康づくりへの取組みの強化も必要です。	課長評価	目標を達するため、現状維持とする
------	---	------	------------------

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

※以降の評価は、令和3年度~令和5年度の3カ年に分けて実施予定。

実施年度		内部評価
令和5年度 予定		-

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

外部評価	評価のコメント
-	

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--